

【調査結果詳細】90%以上が「投資は必要」と回答。一方で40代以下のミレニアル世代ほど制度理解や口座開設など「入り口」にハードル

【10/4は投資の日】オンライン相談サービス「お金の健康診断」ユーザーに投資に関するアンケート調査を実施

10月4日は【証券投資の日】投資のイメージや利用状況に関するアンケート調査

90%以上が投資は必要と回答。
40代以下は入り口に、
60代以降は出口にハードル



お金の健康診断

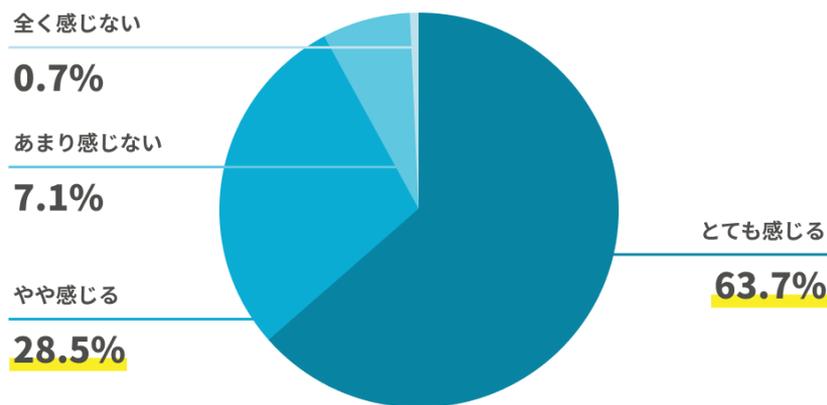
現在、岸田政権は「資産所得倍増計画」を掲げ、貯蓄から投資へを推進するためNISA恒久化などが話題になっています。そんななか、お金のオンライン相談サービス「お金の健康診断」を運営する株式会社400F(フォーハンドレッド・エフ、本社：東京都中央区、代表取締役社長：中村 仁、以下「400F」)は当社ユーザーを対象に「投資のイメージや利用状況」などに関するアンケートを実施しましたので、その結果を発表いたします。

■調査結果概要

- 90%以上が投資は必要と回答
- 投資イメージは「怖い」「難しい」より「資産形成に有効な手段」
- 投資経験者のもっとも多い投資商品はNISA（つみたてNISAを含む）。30代～50代は利用率が高い
- NISA利用者の70%以上が、開始にあたり自分で調べたり、周りのアドバイスが必要だったと回答
- NISAを利用する上で感じたハードルは、40代以下のミレニアル世代は制度理解や口座開設などの「入り口」に、60代以降は商品売買のタイミングなど「出口」に
- 約80%が「専門家に相談したい」と回答。相談形式はオンラインが人気

1) 90%以上が投資は必要と回答。老後資金の準備に

Q 個人で投資することの必要性は感じますか？

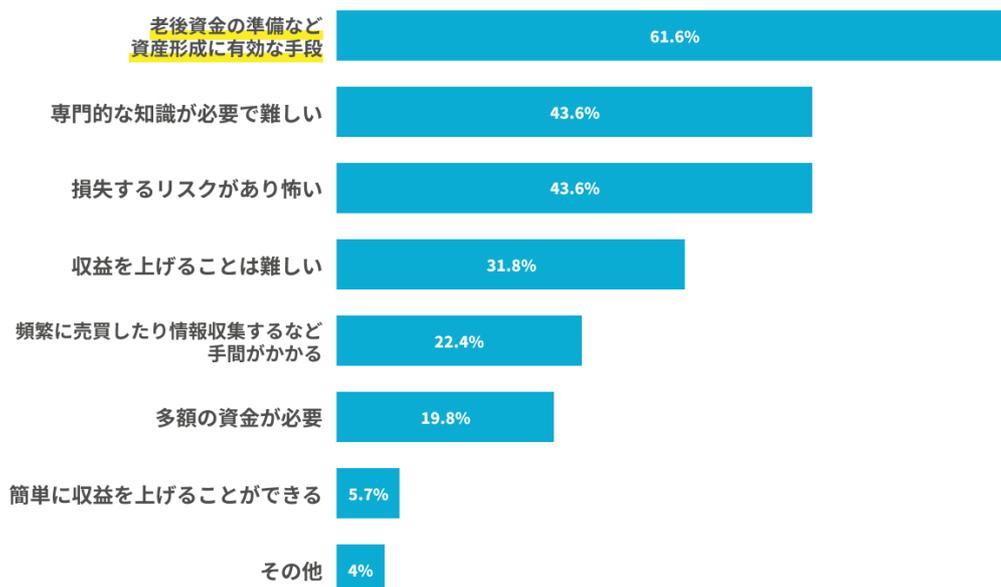


n=424

個人で投資する必要性について「とても感じる」「やや感じる」と回答した人は92%でした。本調査は当社サービス利用者のため、資産形成への関心が高いユーザーが多い傾向にあると考えられますが、それでも投資意識は高く、約10人に6人が「とても感じる」と回答。

2) 投資のイメージは「怖い」「難しい」より「資産形成に有効な手段」が最多

Q 投資に対するイメージについて教えてください

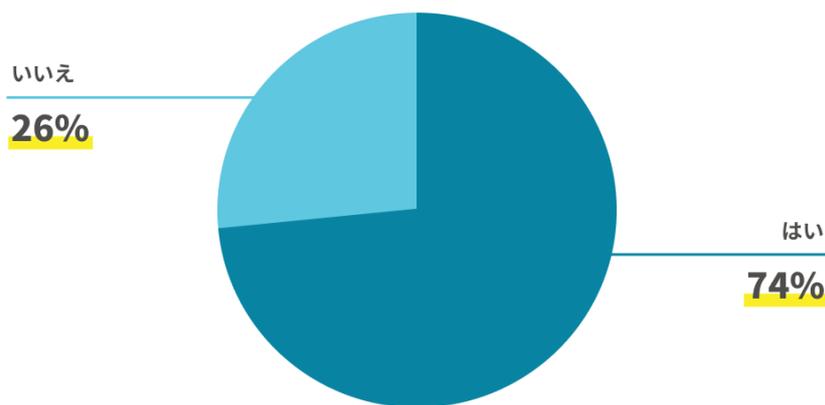


※複数回答あり

「投資のイメージ」でもっとも多かった回答は、「老後資金の準備など資産形成に有効な手段」。続いて多かったのが、「専門的な知識が必要で難しい」、「損失するリスクがあり怖い」でした。「損失が怖い」「難しそう」とは思いつつも、貯金だけでは老後資金は賅えず、将来の備えとして投資が必要だと感じている人が多いことが伺えます。

3) 74%が「投資経験あり」と回答

Q あなたは投資をしたことがありますか？

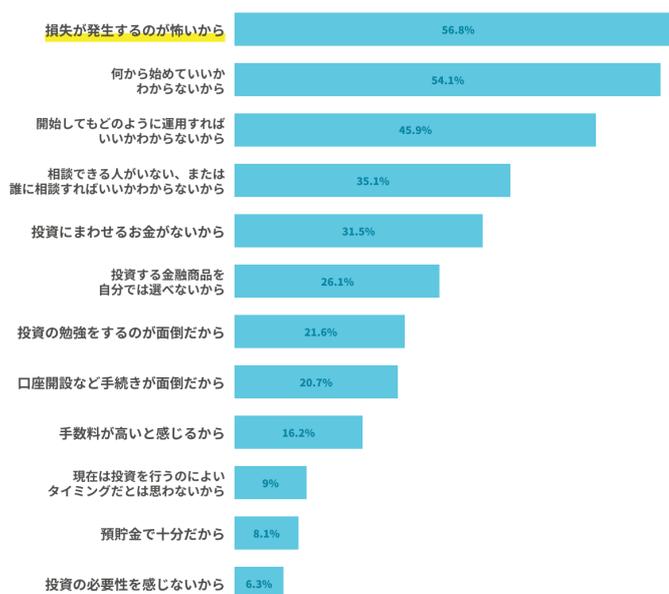


n=424

投資経験の有無については、約74%が「投資経験がある」と回答しました。

4) 投資をしない人の理由は「損失が発生するのが怖いから」が最多

Q 「投資の経験がない」と回答した人にお聞きます。 あなたが投資を行わない理由として 当てはまるものをすべてお答えください

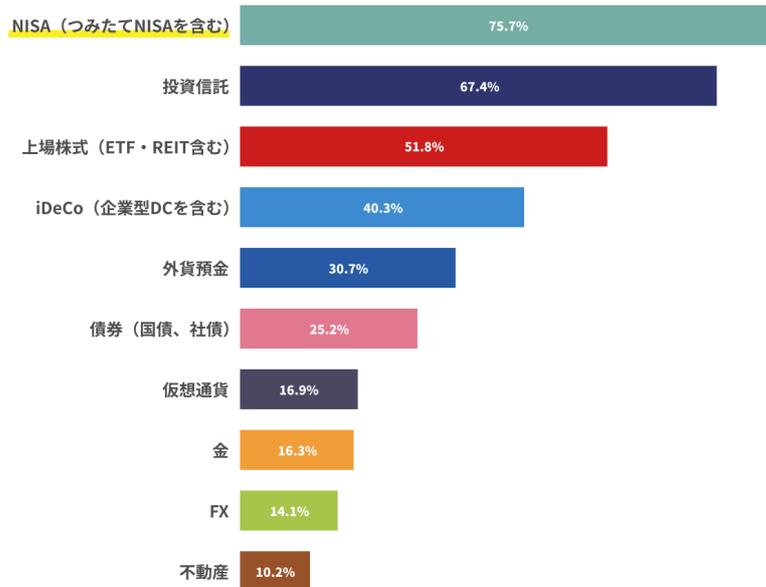


※複数回答あり ※投資未経験者のみ

「投資の経験がない」と回答した人の「投資を行わない理由」でもっとも多かった回答は、「損失が発生するのが怖いから」でした。続くのは、「何から始めていいかわからないから」、「開始してもどのように運用すればいいかわからないから」「相談できる人がいない、または誰に相談すればいいかわからないから」など、開始前も開始後も「わからない」ことがキーワードに。

5) 投資経験者の対象は「NISA（つみたてNISAを含む）」が最多

Q 「投資の経験がある」と回答した人にお聞きます。
これまでに経験したことがある投資対象をすべてお答えください

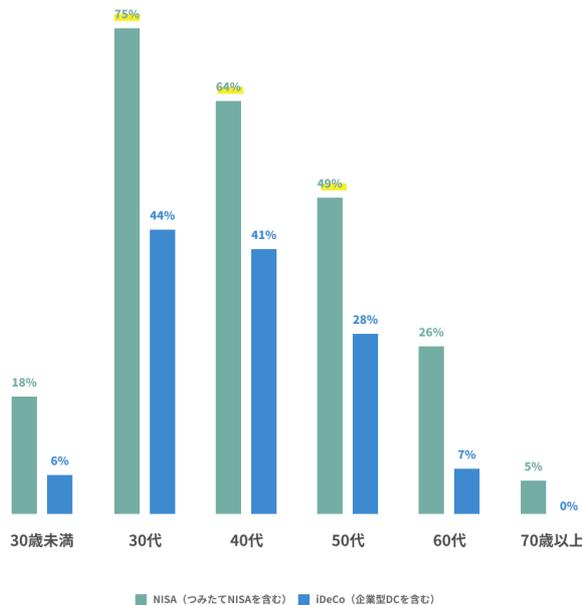


※複数回答あり ※投資経験者のみ

投資経験者の対象は「NISA (つみたてNISAを含む)」が最多。非課税制度のある老後資金づくりといえばNISAとiDeCo (企業型DCを含む) ですが、NISAの利用経験者はiDeCoの約2倍でした。加入年齢や引き出すのに制限があるiDeCoに対して、NISAはシンプルで利用しやすいのかもしれませんが。

6) 投資対象を年代別にみると、30代~50代はNISAの利用率が高い

Q 「投資の経験がある」と回答した人にお聞きます。
これまでに経験したことがある投資対象をすべてお答えください

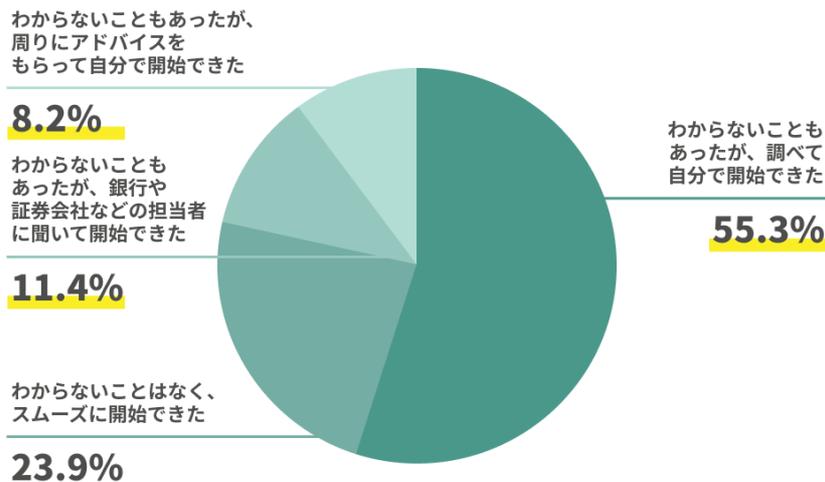


※NISAとiDeCoのみ抽出
 ※複数回答あり ※投資経験者のみ

投資経験者の投資対象を年代別にみると、30代~50代はNISAを利用している人の割合が高く、NISAは現役世代の資産形成手段として浸透していることが伺えます。

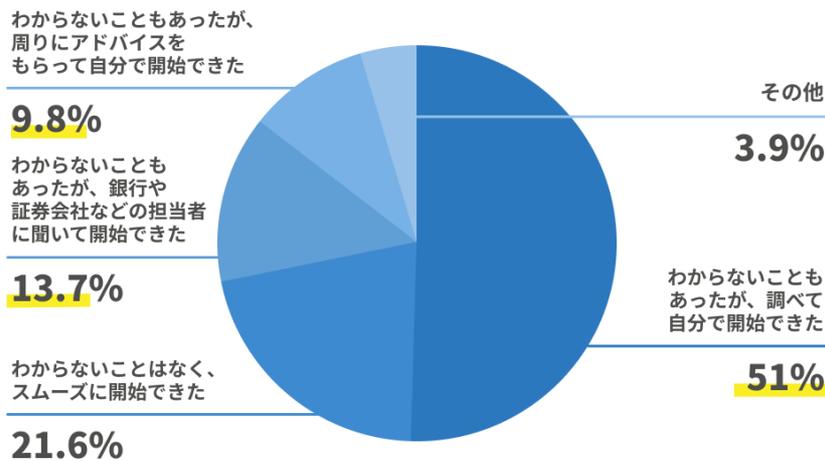
7) NISAやiDeCoをスムーズに利用開始できる人は約20%! 70%以上が調べたり、周りのアドバイスが必要だったと回答

**Q 「利用している」と回答した人にお聞きします。
NISA（つみたてNISAを含む）を利用する際は、
迷ったり悩んだりせず、スムーズに開始できましたか？**



n=255

**Q 「利用している」と回答した人にお聞きします。
iDeCoを利用する際は、迷ったり悩んだりせず、
スムーズに開始できましたか？**



n=102

NISAもiDeCoも「わからないことはなく、スムーズに開始できた」人は20%ほど。約75%の人が自分で調べたり、周りからのアドバイス、銀行や証券会社などの担当者に聞いて開始したと回答しました。

8) NISAやiDeCoの利用ハードルは「仕組みやメリットなど内容を理解すること」

利用する上でハードルに感じたこと

TOP3

NISAを利用していない・途中で止まっている人

- 1位 何をすればいいかわからないこと (40%)
- 2位 **仕組みやメリットなど内容を理解すること** (39%)
- 3位 運用する資金がないこと (31%)

iDeCoを利用していない・途中で止まっている人

- 1位 **仕組みやメリットなど内容を理解すること** (31%)
- 2位 運用する資金がないこと (28%)
- 3位 何をすればいいかわからないこと (27%)

※NISAはつみたてNISAを含みます ※複数回答あり

利用する上でハードルに感じたこと

TOP3

NISAを利用している人

- 1位 商品を選ぶこと (45%)
- 2位 **仕組みやメリットなど内容を理解すること** (36%)
- 3位 口座開設などの事務手続き (27%)

iDeCoを利用している人

- 1位 商品を選ぶこと (42%)
- 2位 **仕組みやメリットなど内容を理解すること** (34%)
- 3位 口座開設などの開始手続き (34%)

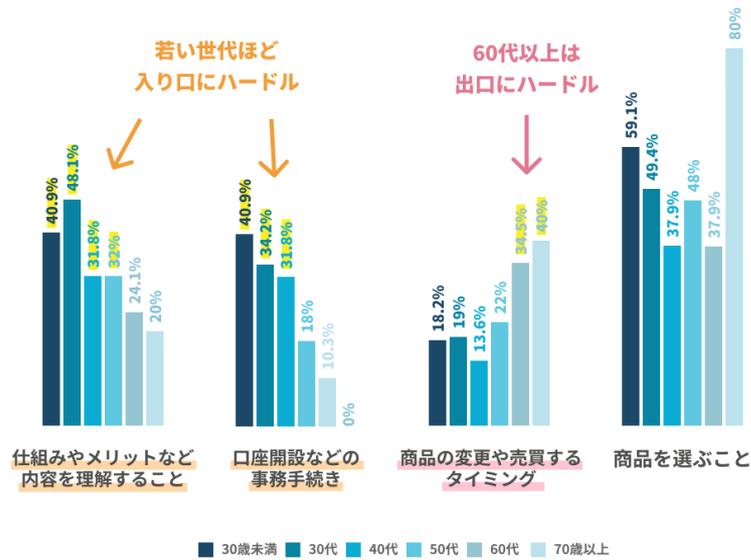
※NISAはつみたてNISAを含みます ※複数回答あり

NISA・iDeCoを「利用していない」、または「手続き等途中で止まっている人」が、「利用する上でハードルに感じていること」は、いずれも「仕組みやメリットなど内容を理解すること」や「何をすればいいかわからない」が上位。一方、NISA・iDeCoを「利用している人」が「利用する上でハードルに感じたこと」で多かった回答は、「商品を選ぶこと」と「仕組みやメリットなど内容を理解すること」でした。

利用している・いないに関わらず、そもそも制度を理解することにハードルを感じる人が多いことがわかります。

9) 40代以下は「入り口」、60代以降は「出口」にハードルあり

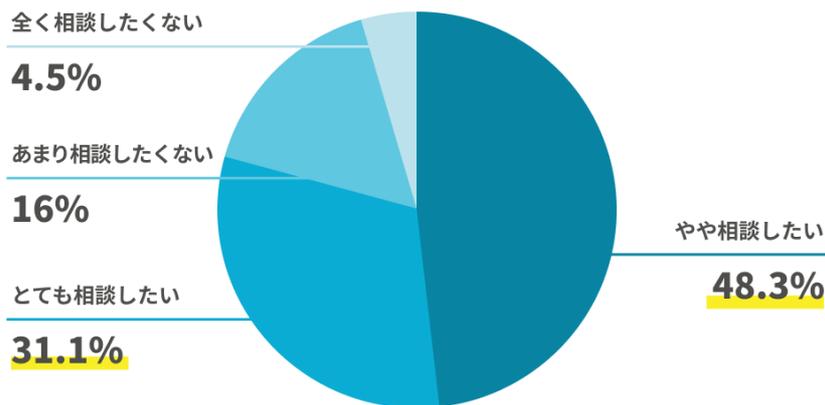
Q NISA（つみたてNISAを含む）を利用開始する上で、ハードルに感じたことはなんですか？



年代によっても特徴が見られました。NISAを「利用している人」の回答を年代別で見ると、30歳未満～40代は「仕組みやメリットなど内容を理解すること」「口座開設などの事務手続き」にハードルを感じている人が多い傾向にある一方で、60代以降は「商品の変更や売買するタイミング」にハードルを感じる人が多い傾向に。若い世代ほど投資を始める「入り口」に、上の世代ほど「出口」にハードルを感じていることが伺えます。

10) 投資の相談は約80%が「専門家に相談したい」と回答

Q NISA・iDeCoに限らず、投資をする上で専門家がいたら相談したいと思いますか？

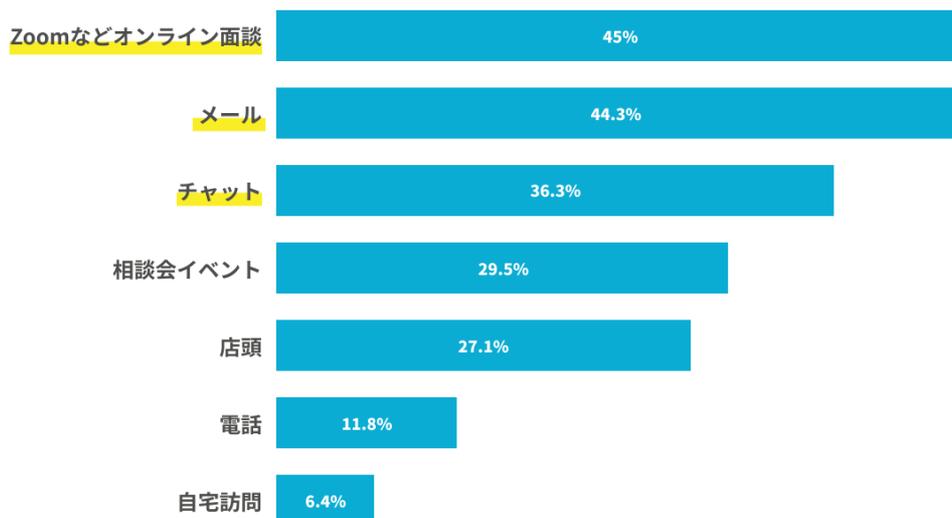


n=424

「投資について専門家に相談したいか」という質問には、約80%が「とても相談したい」「やや相談したい」と回答。

11) 相談形式はオンラインが人気。コロナ以後オンライン相談がニューノーマルに

Q 投資のアドバイスを受けられるなら、 どのような形式で受けたいですか？



※複数回答あり

相談形式は「Zoomなどオンライン面談」が最多で、「メール」「チャット」が続きました。2020年のコロナ感染拡大を機にオンラインの相談が普及し、今ではオンラインがスタンダードになっていることが伺えます。

■最後に

今回の調査から多くの方が投資の必要性を感じている一方で、スムーズに利用開始することができる人は少なく、多くの方が制度内容の理解や商品の選び方などにハードルを感じていることがわかりました。

「貯蓄から投資へ」を促進するための制度が拡充されるなか、同じように重要なことは一人ひとりが疑問や悩みを相談できる機会があることではないでしょうか。

「お金の健康診断」は、全国どこからでもプロと繋がることができ、オンラインで相談できるサービスです。どんな立場の人にも有効な「お金の問題解決」の機会を提供し、一人でも多くの方が「やりたいことをやる決断」ができる社会の実現を目指してまいります。

【調査概要】

調査方法：WEBアンケート

エリア：全国

回答者：お金の健康診断ユーザー424名

調査期間：2022年9月1日(木)～7日(水)

- ・ 調査結果データの引用、転載に際しては必ず『株式会社400F「お金の健康診断」調べ』と記載してください。
- ・ 調査結果に関する問い合わせは、担当者までお問い合わせください。

• お金の健康診断について

スマホから居住地や年齢、年収、家族構成などの質問に答えるだけで、同地域・同年代の人と比較し、ユーザーの家計状況を診断。自分と似たユーザーと貯金額や投資額を比較して傾向などを受け取ることができます。その後、診断結果をもとにFP（ファイナンシャルプランナー）やIFA（金融商品仲介業者）等のお金に関する専門家からアドバイスコメントが届き、ユーザーはチャットで気軽に無料相談することができるオンラインサービスです。

<http://okane-kenko.jp/>

• 会社概要

株式会社400F（フォーハンドレッド・エフ）は、誰しもが“やりたいをやる決断を”行って豊かな人生を歩めるようにするために、大きな課題である“お金の問題を出会いで解決する”ことを理念に2017年11月に設立しました。【東洋経済すごいベンチャー100】（2021年9月4日号）、Forbes JAPANの【200社一挙掲載！日本のスタートアップ大図鑑】（2022年1月号）に選出されました。どんな立場の人にも有効な「お金の問題解決」の機会を提供し、一人でも多くの人が「やりたいことをやる決断」ができる社会の実現を目指してまいります。

- ・ 所在地 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町9-1 兜町第2平和ビル FinGATE BLOOM 4F
- ・ 代表者 代表取締役社長 中村 仁
- ・ 設立日 2017年11月1日
- ・ 事業内容 お金のオンラインチャット相談プラットフォーム『お金の健康診断』の企画/開発/運営、お金の悩み・疑問を解決するWebメディア『オカネコ』の企画/開発/運営
- ・ URL <https://400f.jp>

400Fのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/38217

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

株式会社400F contact@400f.jp